

可茂特別支援学校を訪問しました

7月11日(木)と16日(火)の2日間にわたって、「教員志望等の生徒が特別支援教育への理解を深める」「特別支援学校教員を目指す生徒が具体的な職業観をもつ」という目的のもと、総勢11名の加茂高生が可茂特別支援学校の授業見学を行いました。

両日とも最初に大竹校長先生から同校の学校紹介ビデオに合わせた説明をいただいたあと、授業見学に回りました。参加者全員が特別支援学校は初めての経験ということで、出だしは少し緊張



張気味でしたが、小学部、中学部と元気で楽しそうに飛び跳ねている児童生徒たちの様子につられてだんだんと笑顔が広がっていきました。中には彼らと満面の笑みでハイタッチを交わす姿も見られました。また、高等部の作業学習では、生徒たちが汗だくになって真剣に作業に向かう姿や、カフェ実習の準備や清掃作業をする姿を目にし、そのひたむきな姿勢に心を惹かれていた様子でした。最後にはスクールバスや送迎車で下校する150名を越える児童生徒たちの見送りをして訪問を終えました。

「きれいで広々とした明るい校舎」「さまざまな障害や個々の状況に応じた多様性を尊重した教育活動」「生徒に社会参加の機会を提供し、彼らが自己実現を果たすための支援」「教師も生徒も笑顔がいっぱいの教室」など、参加者たちの感想はポジティブな表現で溢れていました。

「今度はカフェを訪問したり、学校祭にも参加してみたい」参加者たちの特別支援学校に対するイメージはすっかり変わったようです。